

～平成29年度 第2回 緩和ケア勉強会を開催しました～

1月17日当院精神科 渋谷譲先生を迎え、

『せん妄の予防とケア～発症と憎悪を食い止める～』という題目で勉強会が行われました。

“様子がちょっと違う・ひょっとしてせん妄かも？”と思った時は、スクリーニングを行い、早期発見・早期治療が大切であることを学びました。



患者さんから攻撃されやすい人ってどんな人？
攻撃されたらどう対応する？
実演を交えてわかりやすく説明！

<参加者> 院内:47名、院外:18名、合計65名



平成29年度 第2回地域連携 緩和ケア症例検討会

(3月14日)



『がん性疼痛にオピオイド持続皮下注射を使いながら、在宅で看取られた一例』についてワークショップを行いました。

オピオイド注射薬を持続皮下注で投与中の患者さんが、在宅へ退院された後、どのように過ごされたかを知る機会には中々無いものです。

職場・職種の異なるメンバーで、「在宅でのオピオイド持続皮下注(PCAポンプ)の使用経験と、メリット・デメリット」、「当地域での普及の可能性と問題点」の2点について検討を行いました。

各々の職種、役割からの目線と角度で見た一つの症例は、お互いの視野を広げ、今後の課題を見いだす良いきっかけとなりました。

このような貴重な経験を、多くの皆さんに味わってほしい！

是非次回は参加してみてください。



緩和ケアの申し込み・問い合わせは
緩和ケアリンクナースまたは認定看護室へ
(内線:2118)